

進路だより【第2号】

発行日：令和6年10月23日（水）
発行者：虹の原特別支援学校壱岐分校
進路指導部

【就労支援セミナーが実施されました】

10月3日（木）、長崎労働局主催による「就労支援セミナー」が実施されました。これは、同局が「特別支援学校の生徒、その保護者及び教職員の一般雇用に対する理解を促進すること」を目的としたもので、毎年、希望する県内の特別支援学校から3校選ばれ、実施されます。壱岐分校では、平成26年度、令和元年度に続き、5年ぶり3回目の実施となりました。高等部の生徒11名、小学部と高等部の保護者計7名のご参加がありました。お忙しい中、ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。セミナーの内容を簡単にご説明します。

①企業で働くうえでの心構え【企業講話】

市内の企業の代表者様からと、その企業の障害者雇用で働いておられる方からのアドバイスがありました。企業の仕事内容と一日の流れ、最後に以下の三つの話がありました。（当日のスライドです。）

| 仕事で大切なこと | 働く上での心構え | 企業の求める人物像 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">●相手に対するおもいやり●自分の体調管理●向上心を忘れずに | <ul style="list-style-type: none">●挨拶●報連相（報告、連絡、相談）●マナー | <ul style="list-style-type: none">●こころの優しい人、素直な人●自分の意見が言える人●相手の立場になって考えられる人 |

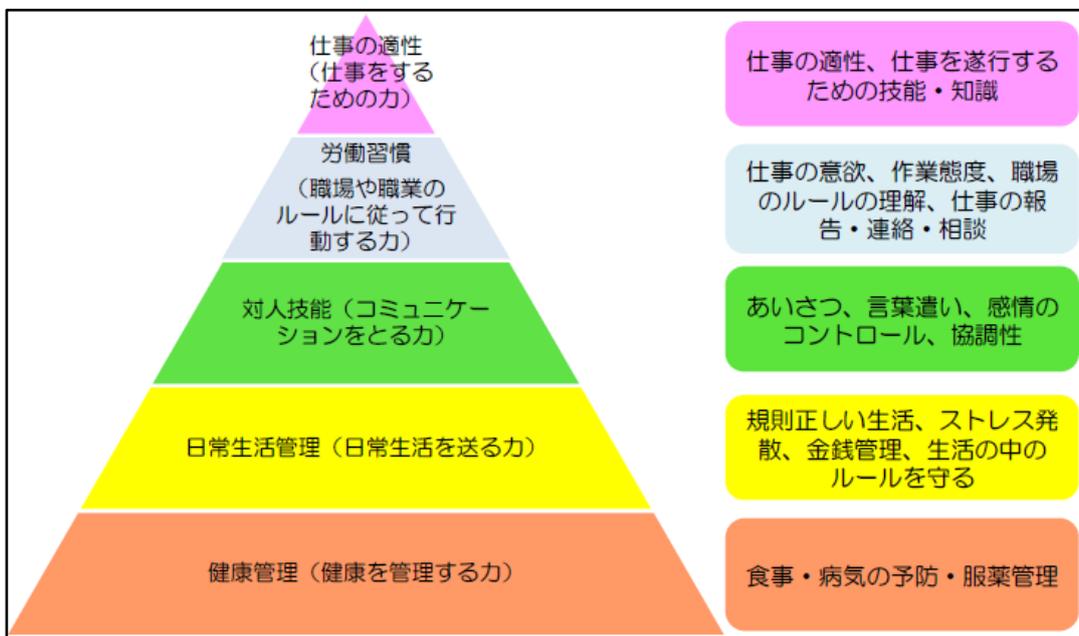
障害者雇用で働いておられる方への生徒たちからの質問とその回答です。

- ・「企業で働くうえで大変なことは」・・・その企業のルールと時間を守ること。
- ・「働くうえで一番大事なことは」・・・挨拶
- ・「働くときに気を付けていることは」・・・仕事で使う道具を大切に扱うことと、周りの人との関係を大切にしている。
- ・「学校で学習、体験したことで、役に立っていることは」・・・人間関係でトラブルがあったが精神的に強くなった。（適切なコミュニケーションの取り方を学ぶところでもあるのですね。）
- ・「職場の人と接するとき大切なことは」・・・まずは挨拶、次に共通や共感もてる天気などの日常的な会話をすること。
- ・「仕事のやりがいは」・・・仕事の達成感と仲間との雑談があること。
- ・「高校生のときと人間関係の違いは」・・・年齢や性別を問わず、仕事上で苦手な人でも、業務のことを話さなければならない。
- ・「働く楽しみは」・・・休みの日に自分の好きなことをすること。私の場合はドライブです。

②就職に向けた準備について【長崎障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 小川直人様】

長く働くためには、「何のために働くのか」というモチベーションが大切で、これがないとなかなか続かないという話が印象的でした。給料を自分のために使うことも大切な能力です。次ページの図は、当日の資料の一部です。以下、講話の一部です。

「働くために大切なこと」としてよく表されるピラミッドですが、なぜピラミッドの形なのか、広い面積を占める下に書かれた項目こそ大切です。「薬をきちんと飲む」「バランスのよい食事を取り、健康を維持する」「十分な睡眠時間を取る」ことが大切です。「特別支援学校卒業生を支援していて、よくあるケースが、「夜更かしをして遅刻をする、あるいは仕事にあくびが多く集中力に欠ける」です。夜更かしの原因は友達と遅くまでSNSで話し込んだり、ゲームをしたりです。（これは、高等部の生徒にも見られることがあり、注意をしています。）仕事に影響しないよう、「ゲームやスマホの使用はこの時間まで」などと決めましょう。そして一番大事なことは「休まない」ことです。休むと支援もできません。ストレスが原因で仕事を休む人もいます。ストレスをため込まないように早めに相談しましょう。



③障害者の雇用支援制度【ハローワーク壱岐 就職促進指導官 島崎康広様】

どのような仕事があるのか、就職する前や就職した後に支援してもらえるところをご説明いただきました。以下、お話の一部です。

世の中にはたくさんの仕事があり、どんな仕事もすべて、人の役に立っています。意味がない仕事、必要じゃない仕事は、一つもありません。たくさんの「仕事」で私たちの生活が成り立っています。そして、仕事も学校生活でも何事も「**振り返り、次に生かす**」ことが大切です。うまくいかなかったことは、**次はこうすればうまくいくのではないかと考える**。うまくいったことは、更に良くするために、**次はこうしてみよう**と考える。6月に行われた実習報告会で、「次はこれを頑張りたい」と発表していたのはすごく良いこと。初めてすることは誰でも失敗する。失敗は悪いことではなく、「後悔」ではなく「反省」を。「後悔」はできなかったことをくよくよ思い悩むこと、「**反省**」は失敗に対し、何がいけなかったのかを考え、次に生かすこと。だれでも、どうしていいかわからないときに落ち込むが、**失敗の原因が分かれば、次にやるべきことが見える**。苦しくても、これをやれば何とかかなりそうというものがあれば、**気持ちも前向きになり、失敗を乗り越えていける**。これからの学校生活で、「後悔」ではなく「**反省**」を頭の片隅において生活しましょう。

島崎様には、6月の就労体験実習報告会にも参加していただき、「**実習報告会で話した目標に向かって頑張ってもらいたい**」と話を締めくくられました。

セミナー受講後の生徒の感想（抜粋）（似た内容が多数ありました。）

- ・やはり挨拶は大切だと思った。また、相手を思いやる、体調管理、向上心を忘れない。学校の学びで大切なことは人間関係と分かった。
- ・仕事は続けることが大事だと分かった。11月の就労体験実習で挨拶や報告を頑張りたい。
- ・体調管理と報連相をきちんとしていく。みんなに優しく接する。
- ・これからも学校を休まない。挨拶や思いやりをもつよう意識する。
- ・仕事の大変さが分かった。長く続けるのは大変なんだと思った。心の健康も大事だと思った。
- ・「指示を素直に聞く」とは、いつも言われていることなので11月の実習の目標にする。
- ・卒業後、すぐに働く以外に、職業訓練や能力開発校などがあることを知ることができた。
- ・仕事は絶対行く。就職が「ゴール」ではなく、そこから「スタート」ということが心に響いた。

※②と③の資料を、掲載許可をいただきましたので、学校のホームページに添付します。「保護者・職員用」の資料も添付しています。大変参考になる資料です。是非ご覧ください。学校でも折に触れ、今回の学びを生かしていきます。